

市場を通じた共同事業で 組合員をサポート

●山梨県水産物商業協同組合

TOPICS

山梨県水産物商業協同組合(杉山一美理事長 組合員133社)は、甲府市地方卸売市場を利用する鮮魚等の水産物の小売・卸売事業者で構成されている。

組合の主要事業である「代払精算事業」は、組合員が甲府市地方卸売市場から鮮魚等を仕入れた時の仕入れ代金を組合が立替払いし、後日まとめて

組合員より回収するもので、年間の取扱高は約25億円になっている。「共同購買事業」では、組合員の店舗で販売する鮮魚をはじめ、調味料、缶詰め、インスタントコーヒー、菓子等あらゆる食品、食材等を提供しており、年間の販売総額は、約2億4千万円となっている。

また、魚の消費増加と地元での魚の購入をピーアールすることを目的に、市場で行う「消費者感謝デー」にも積極的に参加し、組合員の売上向上や事業活性化をサポートしている。この「消費者感謝デー」は、甲府市地方卸売市場が一般消費者に市場を毎年一回開放し、市場を知ってもらうとともに消費者に感謝の気持ちを込めてマグロの解体ショーとその試食、カニ汁の試食、無料の野菜釣りやバナナのたたき売りなどを行っているイベントで、甲府市民だけでなく多くの県民に好評をいただいている。



新鮮な品揃えの組合員店舗

その他にも、福利厚生事業として、「ゴルフコンペや新年会」を開催し、組合員の親睦や交流を深めている。

杉山理事長は「組合事業の合理化と活性化を積極的に行い、安価で質のいい商品の提供や、サービスの向上に努め、信頼され頼りにされる組合を目指していきたい。更に組合員の経営に貢献できる組合事業を積極的に展開していきたい。」と組合員目線で力強く語ってくれた。



購買事業を利用する組合員